

令和 8 年度 入学試験問題

地 理

注 意 事 項

1. 問題冊子と解答用紙は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 机の上の受験番号が受験票の受験番号と同一であることを確認しなさい。
3. 受験票は、受験番号が見える面を上にして、机の上の受験番号シールと並べて置きなさい。
4. 受験票のほかに試験時間中机の上に置けるものは、黒鉛筆（和歌・格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル（黒い芯に限る。ボールペン付きは不可）、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）、時計（辞書・電卓・端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）です。
5. 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。
6. 携帯電話等の電子機器類は、必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておきなさい。試験時間中にこれらをかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。
7. また、試験時間中にかばん等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
8. 監督者の指示があるまでは、試験室から退室できません。
9. 監督者の説明を聞いて、正しい符号の問題冊子と解答用紙が配布されているか、確認しなさい。
10. 試験開始の合図があったら、解答用紙の所定の位置に受験番号シールを貼り付けなさい。なお、氏名は、どこにも書いてはいけません。
11. 問題は 2 ページから 15 ページまであります。試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合には、手を挙げて、すみやかに監督者に告げなさい。
12. 試験時間中気分が悪くなった場合は、監督者に申し出なさい。ただし、休養等に要した時間の延長は認めません。
13. 不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、同日に受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。
14. 解答用紙は必ず提出しなさい。問題冊子は持ち帰りなさい。

〔 I 〕 地球上の位置と時差に関する次の文章を読んで、下記の設問に答えよ。

地球上の任意の地点の位置は、すべて緯度と経度を用いて表すことができる。緯度は、 を 0 度とし、南極と北極までをそれぞれ 90 度に分けたものである。
の北側は北緯、南側は南緯(あ)で表される。同じ緯度の地点を結んだ線が緯線である。一方、経度は、イギリスのロンドン郊外にある旧グリニッジ天文台を通る線を
(経度 0 度) と定めて基準とし、その東西をそれぞれ 180 度に分けたものである。
の東側は東経、西側は西経で表される。地球が球体 (回転楕円体) であることから、東経 180 度の線と西経 180 度の線は同一となる。同じ経度の地点を結んだ線が経線である。

球体である地球は西から東に向かって、約 24 時間で 1 回転している。そのため、経度 度につき 1 時間の差が生じる。世界各国・各地では、 を基準としてその国や地域の標準時子午線を定め、等時帯(い)を設けて、それぞれの標準時を決めている。日本は兵庫県 市を通る東経 135 度の経線によって日本標準時を決めており、グリニッジ標準時 (GMT : Greenwich Mean Time) よりも 時間進んでいる。

2 つの地域の標準時の差を時差(う)とよぶ。東経 180 度の経線が通る地点の時刻は GMT より 12 時間進み、西経 180 度の地点は GMT より 12 時間遅れ、東経・西経 180 度の経線の東西では 24 時間 (1 日) の時差が生じる。このため、東経・西経 180 度の経線にほぼ沿って日付変更線(え)が設けられている。

問 1 空欄 ～ に適する語句を記せ。

問2 (下線部(あ)について) 中高緯度地域に位置する国々の中には、日照時間が長い夏場に限り、時計の針を標準時よりも早める制度を取り入れている国もある。それについて以下の設問に答えよ。

- (1) この制度の名称をカタカナで記せ。
- (2) この制度は日本でも 1948 年に導入されたが、わずか 4 年で廃止された。その理由を、日本の国土の特徴に触れつつ簡潔に述べよ。

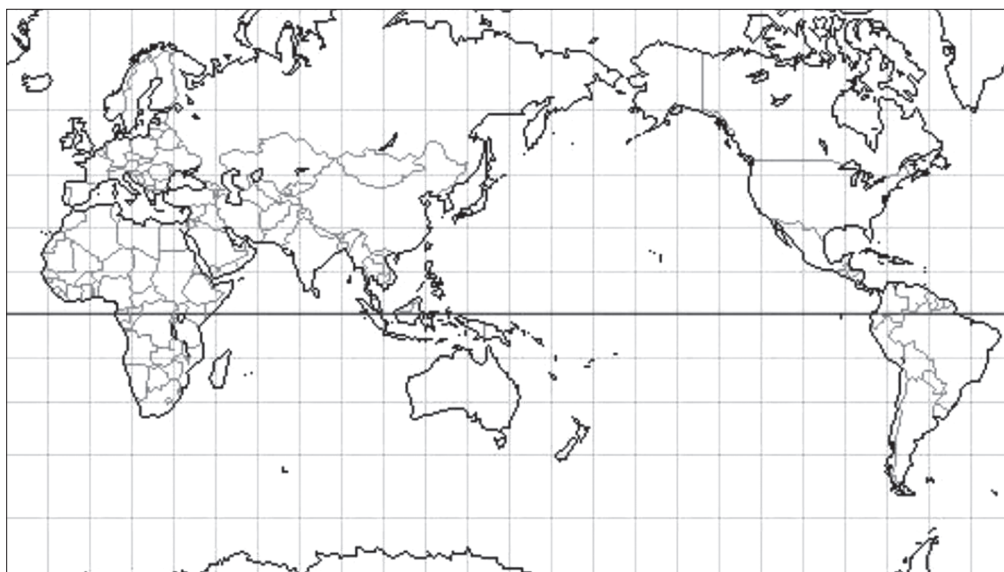
問3 (下線部(い)について) アメリカ合衆国は 6 つの、ロシアは 11 の等時帯を設けている。このように等時帯を設けている理由を簡潔に述べよ。

問4 (下線部(う)について) 以下の設問に答えよ。

- (1) 標準時子午線が東経 30 度のキーウ (ウクライナ) と東京 (日本) との時差を求めよ。
- (2) キーウが 2022 年 2 月 24 日午前 5 時であったとき、アメリカの首都ワシントン D.C. (標準時子午線・西経 75 度) は 2022 年何月何日の午前/午後の何時であったか、解答用紙に記せ。

問5 (下線部(え)について) 以下の設問に答えよ。

- (1) 次の世界地図を参考にして、解答用紙の世界地図の中に日付変更線のおおよその位置と形を記せ。



- (2) ハワイ (アメリカ), アピア (サモア), シドニー (オーストラリア), ロンドン (イギリス) について, 正月 (1月1日) を迎えるのが早い順の組み合わせを次の選択肢(a)~(d)の中から1つ選び, その記号を記せ。

- (a) ハワイ → アピア → シドニー → ロンドン
- (b) アピア → シドニー → ロンドン → ハワイ
- (c) シドニー → ロンドン → ハワイ → アピア
- (d) ロンドン → ハワイ → アピア → シドニー

〔Ⅱ〕 世界の宗教文化に関する次の文章を読んで、下記の設問に答えよ。

日本人は宗教の有無を問われた際、無宗教であると答えがちである。他方、世界に目を向けてみると、宗教は人びとの考え方や行動を強く方向づけていることもあり、個人や集団のアイデンティティと結びついていることも珍しくない。

キリスト教、イスラーム（イスラム教）、仏教は国や地域、民族を超えて信仰されている点で [1] と称されている。キリスト教は [2]、[3] および正教会（東方正教会）などに分かれている。[2] はローマ教皇を頂点とする宗派であり、[3] は16世紀の宗教改革後に成立した宗派である。イスラームは [4] の創始した宗教であり、クルアーン（コーラン）を聖典とする。イスラームも大きく2つの宗派に分かれており、現在の中東社会の諸問題はしばしばそれらの宗派の対立として表れている。他方、ユダヤ人が信仰するユダヤ教やインドを中心に信仰される [5] など特定の民族に信仰が限られる傾向にある宗教は [6] と称される。日本の神道も [6] に該当する。なお、国や地域、民族を超えて信仰される宗教も同じものが世界に広がっているわけではなく、また、[6] も、外部の影響を受けずに存在しているわけではない。[1] と [6] とが習合しつつ地域独自の展開を遂げているケースも少なくないのである。

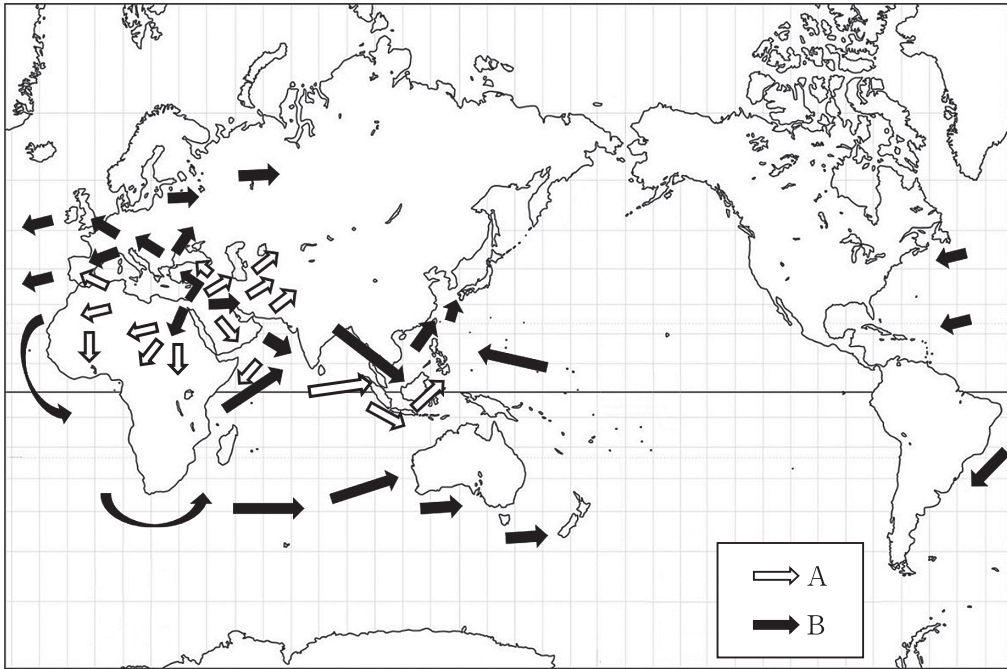
特定地域の宗教分布として、東南アジアの状況に注目してみよう。人口からみると、大陸部の国々は仏教徒の割合が高いが、島しょ部の国々はイスラームとキリスト教の信徒が多数を占めている。もっとも、バリ島などでは、周辺がイスラーム化したあとも、古い時代に伝わった [5] が信仰され、土着の文化と融合しつつ独自の宗教文化を形成している。

問1 空欄 [1] ～ [6] に適する語句を記せ。

問2 (下線部(あ)について) 日本の仏教の特徴と伝播について説明するものとして適切なものを次の選択肢(a)～(d)から1つ選び, その記号を記せ。

- (a) 日本の仏教は, インドからスリランカや東南アジア諸国に広がった上座部仏教が伝播したものであり, 出家して個々人が悟りをひらくことを目的とし, 厳しい戒律を伴う。
- (b) 日本の仏教は, インドからスリランカや東南アジア諸国に広がった大乘仏教が伝播したものであり, 個人の悟りのみならず一般の人びとの救済を重視する。
- (c) 日本の仏教は, インドから中国・朝鮮半島など東アジア諸国に広がった上座部仏教が伝播したものであり, 出家して個々人が悟りをひらくことを目的とし, 厳しい戒律を伴う。
- (d) 日本の仏教は, インドから中国・朝鮮半島など東アジア諸国に広がった大乘仏教が伝播したものであり, 個人の悟りのみならず一般の人びとの救済を重視する。

問3 (下線部*い*)について) 次の図はキリスト教とイスラームの伝播経路を表したものである。図の説明として、適切なものを下の選択肢(a)~(d)から1つ選び、その記号を記せ。

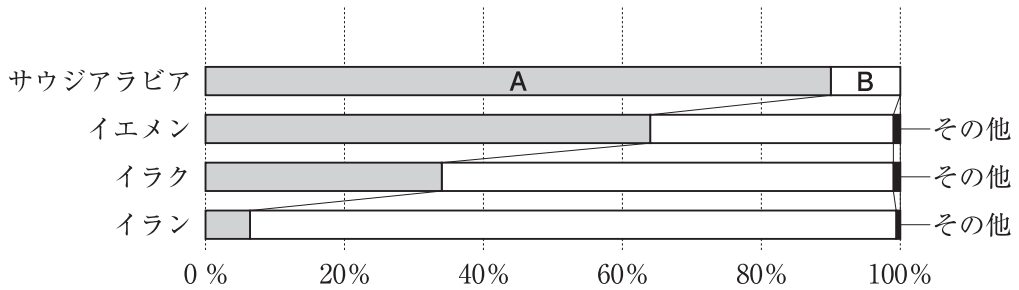


キリスト教とイスラームの伝播経路

- (a) 矢印Aはイスラームの伝播経路であり、西アジアから東西に拡大し、東南アジアには、強大な海軍力を背景にキリスト教を駆逐して伝播したことを示す。
- (b) 矢印Bはキリスト教の伝播経路を示し、西アジアからヨーロッパに拡大し、西洋の世界進出に伴うイスラーム勢力の排除や植民地支配の影響で伝播したことを示す。
- (c) 矢印Aはキリスト教、矢印Bはイスラームの伝播経路を示す。両者の伝播の基点であるエルサレムは、バルカン半島の中央に位置する。
- (d) 矢印Aはイスラーム、矢印Bはキリスト教の伝播経路を示す。両者の伝播の基点であるエルサレムを擁する国は、OPEC（石油輸出国機構）の一角を成す。

(26 U地)

問4 (下線部(う)について) 次の図は西アジアのいくつかの国における宗教・宗派別人口の割合をグラフ化したものである。AおよびBに該当するイスラームの宗派の名称を記せ。



注：THE WORLD FACTBOOK（2025年9月閲覧）より作成

西アジア諸国の宗教・宗派別人口の割合（2020年時点）

問5 (下線部(え)について) 以下の設問に答えよ。

- (1) タイおよびミャンマーの多数派が信仰する宗教名を記せ。
- (2) インドネシアおよびマレーシアの多数派が信仰する宗教名を記せ。
- (3) 東南アジアにおいてキリスト教が多数派を占める国の名称を1つ記せ。

〔Ⅲ〕 アフリカに関する次の文章を読んで、下記の設問に答えよ。

アフリカの自然や文化は、サハラ砂漠をはさんだ南北で大きく異なる。北アフリカの [1] 山脈の北側には地中海性気候が分布するが、南側はサハラ砂漠が広がる乾燥帯となり、地下水の湧くオアシスや、降水時にのみ水流が発生する [A] が存在する。サハラ以南では、赤道直下の [2] 盆地周辺に熱帯雨林が広がり、赤道から離れるにつれて雨季と乾季の区別が明瞭な [3] 気候となる。

文化的にみると、北アフリカは西アジアとのつながりが深く、早くからイスラム教および [B] 語が普及した。これに対し、サハラ以南は民族も言語も多様であり、キリスト教のほか在来の精霊信仰や祖先崇拜がみられるなど、宗教的にも多様である。

一方、歴史的には、アフリカはほぼ全域が19世紀末までにヨーロッパ諸国の植民地となった過去をもつ。しかし、[4] 年には17の独立国が誕生し、その年は、「アフリカの年」と呼ばれるようになった。2025年5月現在、日本政府が承認しているアフリカの独立国は [5] カ国を数える。ただし現在の国境線の大半は、かつての植民地の宗主国が民族の分布を十分に考慮せず引いたものであり、これは今日までアフリカの内戦や民族対立の要因の1つとなってきた。

こうした長年の政情不安により、アフリカ諸国ではインフラ整備や工業の発達が妨げられ、経済発展が進まない状況にあった。また植民地支配に由来する、一次産品の生産と輸出に依存してきた [C] 経済であったこともその一因であった。しかし近年、農産物や鉱産資源の世界的な需要の高まりとともに、アフリカが新たな市場として注目を集めている。また観光業やICT（情報通信技術）産業といった新たな分野で成長する国々^(え)があらわれるなど、アフリカ経済には大きな変化の兆しがみえてくる。

問1 空欄 ～ に適する語句ないし数字を次の語群(a)～(o)から選び、その記号を記せ。

- (a) 208 (b) 127 (c) 54 (d) ステップ
(e) カラハリ (f) サバナ (g) コンゴ (h) ニジェール
(i) アトラス (j) 1960 (k) 1980 (l) 2000
(m) キリマンジャロ (n) ナイル (o) ドラケンスバーグ

問2 空欄 ～ に適する語句を記せ。

問3 (下線部 あ) について) 以下の設問に答えよ。

- (1) サハラ砂漠南縁の砂漠化が進行する帯状の地域の名称を記せ。
- (2) サハラ砂漠周辺の砂漠化の原因として適切なものを、次の選択肢(a)～(e)から3つ選び、その記号を記せ。
- (a) 過放牧 (b) 銅山の過剰開発 (c) バッタの大量発生
(d) 薪炭材の過剰採取 (e) 過耕作

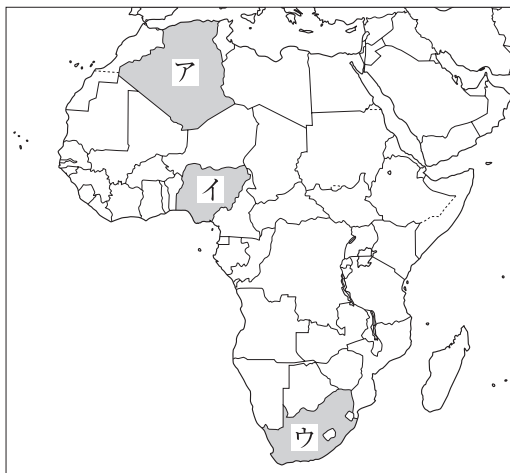
問4 (下線部 い) について) ベルギーの植民地で、少数派の牧畜民ツチ人に多数派の農耕民フツ人を支配させる分断統治が行われ、独立後の1994年に、フツ人によるツチ人の大量虐殺が行われたことで知られる国はどこか、国名を記せ。

問5 (下線部(う)について) アフリカ諸国の一次産品に関する文章として適切でないものを、次の選択肢(a)~(d)から1つ選び、その記号を記せ。

- (a) 鉱産資源を中心とする一次産品の輸出先として、近年中国の存在感が高まっている。
- (b) 植民地からの独立後も、旧宗主国が一次産品の主要な輸出先となる傾向がある。
- (c) アフリカ中部では、水平貿易の促進により、輸出額に占める一次産品の割合が低下している国が増えている。
- (d) アフリカの一次産品の中でも、先端技術製品の製造に欠かせないレアメタルは、近年世界中から注目を集めている。

問6 (下線部(え)について) 以下の設問に答えよ。

- (1) 次の地図中のア～ウの国の説明として適切なものを、下の選択肢(a)～(c)から1つ選び、その記号を記せ。



- (a) GDPに占める第三次産業の割合がもっとも大きく、経済成長率の高さや世界的影響力の大きさから、BRICSと呼ばれる新興5カ国に含まれる。
- (b) OPEC(アラブ石油輸出国機構)に加盟する産油国であり、「アラブの春」と呼ばれる周辺国での民主化運動の影響を受け、2019年に長期政権が崩壊した。
- (c) 石油・天然ガスの豊富な国として知られるが、近年は、この国の頭文字にちなんで「ノリウッド」(Nollywood)と呼ばれる映画産業や通信事業などのめざましい発展がある。

(26 U地)

- (2) 次の表は、日本、モザンビーク、南アフリカ共和国における、人口100人あたりの携帯電話（携帯電話、PHS、自動車電話）の契約数の推移を示したものである。このうち南アフリカ共和国に当たるのはどれか、表のア～ウから選び、その記号を記せ。

人口100人あたりの携帯電話契約数（単位：件）

	2000年	2010年	2020年
ア	17.7	96.2	158.0
イ	52.6	96.2	154.0
ウ	0.3	31.4	50.2

注：ITUウェブサイト（2025年9月閲覧）より作成

- (3) アフリカ諸国では、先進国の企業が主導してきた資源開発と不均衡な利益配分を問題視し、自国内の資源を自国で管理・開発し、それをもとに経済発展を図ろうとする動きが、近年とくに高まっている。このような動きを何と呼ぶか、その名称を記せ。

〔Ⅳ〕 日本の農業に関する次の文章を読んで、下記の設問に答えよ。

山地や丘陵地が国土の約70%を占める日本では、農地として利用できる面積は国土の15%にも満たない。そのために、歴史的に山地や丘陵地にも農地を広げたり、耕作方法を工夫したりすることで、食料増産を試みてきた。第2次世界大戦後においても食料の確保が大きな課題であったため、政府は主食の米を全て買い入れて管理するとともに、農地の造成・整備を行う土地改良事業を進めた。

高度経済成長期には日本人の食生活は大きく変化し、米の消費量は減少していった。1969年には都市計画法が施行され国土の計画的な開発が始まり、同年、米の作付けを制限する〔1〕政策が実施された。これを契機に農業就業者が他産業に従事していくことになり、農業就業者の〔2〕化とそれによる後継者不足とが顕在化していくことになった。農家は家族労働を主体としながら、農業機械を導入するなどして高収量をめざす集約的な農業生産を続け、耕地面積あたりの農業算出額を高くすることで農業の経営安定化を図ってきた。こうした対応にもかかわらず、全国で耕作放棄地が増大し、日本の食料自給率は長期的に低下していくこととなった。

政府は国内農業の保護のために農作物の輸入を制限していたが、GATTウルグアイラウンド終了後の〔3〕における農業交渉を通じて制限が緩和され、日本は世界有数の食料輸入国となった。日本は輸入相手国の食料生産現場の社会状況や、食料の生産・輸送にともなう資源消費や環境負荷に対して社会的責任を負っている。

問1 空欄〔1〕～〔3〕に適する語句を記せ。ただし、〔3〕はアルファベット3文字で答えよ。

問2 (下線部 あ) について) 食料増産を図るための工夫について、以下の設問に答えよ。

- (1) 山地や丘陵地に水田が造成されている。これを一般的に何と呼ぶか、その名称を記せ。
- (2) 山地や丘陵地で火入れをする移動式の畑作が行われている。これを一般的に何と呼ぶか、その名称を記せ。
- (3) 同一耕地で作物の増産を図るために二期作と二毛作が行われている。これらの栽培方法の特徴を区別して記せ。

問3 (下線部 い) について) 集約的な農業生産を支えるために、種子や肥料の大量使用に加え、農地で大量に使用されているものは何か、その名称を記せ。

問4 (下線部 う) について) 農業経営の安定化の試みの1つに6次産業化があるが、期待される効果を次の(a)~(f)から3つ選び、その記号を記せ。

- (a) 雇用の確保 (b) 小品目大量生産の増大 (c) 所得の向上
(d) 地域の活性化 (e) 農作物輸入の増大
(f) 農地の住宅・工業用地への転換

問5 (下線部 え) について) 資源消費や環境負荷の状態を示す代表的な指標であるバーチャルウォーターとフードマイレージについて、以下の設問に答えよ。

- (1) バーチャルウォーターの数値が高くなることで資源にどのような影響を与えるか、「不足」という言葉を用いて簡潔に述べよ。
- (2) 日本が世界的にフードマイレージが高い理由を簡潔に述べよ。

成城大学 令和8年度 学部別選抜 (A方式)

2月5日：地理

■文章・図版クレジット一覧

- II (問3) 株式会社帝国書院、新詳地理探究
- II (問4) CIA『THE WORLD FACTBOOK』から引用
- III (問6) International Telecommunication Union, ITU DataHub,
<https://datahub.itu.int/>